

お取引先各位



プレス式継手用締付工具 CK-SY25 の取扱説明書改訂のお知らせ

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日頃ご愛顧いただいております「プレス式継手用締付工具 CK-SY25」において、取扱説明書を改訂しましたのでお知らせ申し上げます。この改訂内容につきましては、当社ホームページにも掲載いたします。

今後の表記製品のご使用に際しましては、本書を適正使用情報としてご活用いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

【改訂の内容】

改訂後(下線部:改訂)	改訂前(二重取消線部:削除)
<p>■安全上のご注意 ! 警告 11. ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。 ●<u>施工時は、危険ですのでヘッド部に顔を近づけないようにしてください。</u> 12.<u>異常のある工具は使用しないでください。</u> ●<u>本体やダイス、カバーにひびなどの損傷や脱落がある場合、破損などによりけがをする恐れがあります。</u> ! 注意 12. 損傷した部品がないか点検してください。 ●<u>使用前に、部品に損傷や脱落などがなく、ひびなどの損耗の兆候がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。</u></p>	<p>■安全上のご注意 ! 警告 11. ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。 ●破損し飛散する恐れがあります。 ! 注意 12. 損傷した部品がないか点検してください。 ●<u>使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。</u></p>
<p>■プレス式継手用締付工具ご使用上のご注意 ●<u>ダイスは消耗品であり、10,000 回の作業回数を目安として設計してありますので、定期的に交換してください。</u></p>	<p>■プレス式継手用締付工具ご使用上のご注意 (省略)</p>
<p>■各部の名称および標準付属品 カバー(図示追加) ※<u>バッテリーパックは消耗品であり、作業回数 が初期の半分となった場合は、交換を推奨します。</u> ※<u>ダイスは消耗品であり破損による危険防止のため、定期的(2年間又は10,000回を目安)に交換してください。</u> ※<u>プレートのカバーが外れた場合は使用を止め、修理してください。</u></p>	<p>■各部の名称および標準付属品 (省略)</p>
<p>■保守・点検 4. 工具の性能を十分発揮させるため、メンテナンスは 24ヶ月ごとに実施してください。 <u>また、ダイスは消耗品であり、破損による危険防止のため、定期交換を推奨します。</u> <u>保守・点検履歴表(追加)</u></p>	<p>■保守・点検 4. 工具の性能を十分発揮させるため、メンテナンスは 24ヶ月ごとに実施してください。</p>

以上

CK

プレス式継手用締付工具

CK-SY25型

取扱説明書






CKシーケー金属株式会社

このたびはお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本機の取り扱い、注意事項などについて説明してありますので、ご使用前によくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

一 目 次 一

■安全上のご注意	P1～P4
■プレス式継手用締付工具ご使用上のご注意	P5
■各部の名称および標準付属品	P6
■仕様	P7
■使用方法	P8～P11
■保守・点検	P12
■こんな時には.....	P13
■保証書について	P13

■安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「 警告」、「 注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を「 警告」、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を「 注意」として記載しています。
なお、「 注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 専用の充電器やバッテリーパックを使用してください。
 - 他の充電器でバッテリーパックを充電しないでください。
 - この取扱説明書に掲載しているバッテリーパック以外は充電しないでください。
破損して傷害や損傷をおよぼす恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し火災の恐れがあります。
 - 温度が0℃未満あるいは40℃以上ではバッテリーパックを充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - バッテリーパックは換気のよい場所で充電してください。
バッテリーパックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
3. バッテリーパックの端子間を短絡させないでください。
 - 釘袋などに入れると、短絡することで発煙、発火、破裂などの恐れがあります。
4. 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグ、バッテリーパックに触れないでください。
感電の恐れがあります。



5. 作業場所の周囲状況も考慮してください。

- 充電工具、充電器、バッテリーパックは、雨中で使用したり、湿った場所およびぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場所は、十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。

6. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーパックを本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- ダイス・アタッチメントなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。
本体が作動してけがの恐れがあります。

8. 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指をかけて運ばないでください。
本体が作動してけがの恐れがあります。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
事故やけがの原因となる恐れがあります。

10. バッテリーパックを火中に投入しないでください。


- 破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

11. ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。

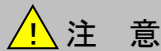
- 施工時は危険ですのでヘッド部を顔に近づけないようにしてください。

12. 異常のある工具は使用しないでください。

- 本体やダイス、カバーにひびなどの損傷や脱落がある場合、破損などによりけがをする恐れがあります。

 注 意

1. **作業場所は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2. **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - 作業者以外、作業場所に近づけないでください。けがの恐れがあります。
3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - 充電工具やバッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。バッテリーパックの劣化の原因となり、発煙、発火の恐れがあります。
4. **無理して使用しないでください。**
 - 充電工具の能力に合った作業をしてください。能力以上での使用は、事故の恐れがあります。
 - 締付完了後も長時間締付を継続しないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5. **作業に合った充電工具を使用してください。**
 - SUSプレス、樹脂プレスの締付以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6. **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。作動部に挟まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
 - 長い髪は、帽子などで覆ってください。作動部に挟まれる恐れがあります。
7. **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷するようなことがないよう充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
8. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。



注 意

9. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ダイスの交換は、取扱説明書に従ってください。
けがの恐れがあります。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの代理店または、当社営業所に修理を依頼してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、使用する延長コードを定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

10. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

11. 油断しないで十分注意して作業をおこなってください。

- 充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

12. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷や脱落がないか、ひびなどの損耗の兆候がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付状態、その他作業に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの代理店または当社営業所に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。異常動作してけがをするおそれがあります。

13. 充電工具の修理は、代理店または当社営業所に依頼してください。

- 充電工具本体、バッテリーパック、充電器を分解したり、修理・改造はおこなわないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
- 充電工具本体およびバッテリーパック、充電器が異常に熱くなったり、その他の異常に気付いたときは、点検修理に出してください。
- 修理は、必ずお買い求めの代理店または、当社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

■プレス式継手用締付工具ご使用上のご注意

先に「安全上のご注意」を記載しましたが、本工具を使用する際、さらに次に記載する注意事項を守ってください。

工具ご使用上のご注意

- 本工具は「SUSプレス」「樹脂プレス」のプレス専用工具ですので、他の作業には使用しないでください。また、仕様外の作業や、誤った作業は継手部より水漏れを起こすばかりでなく、けがや工具破損の恐れがあります。
- カラ押し操作はしないでください。
- ダイスと施工継手のサイズが異なる組み合わせでの使用は、工具破損の原因となりますので十分確認の上、施工してください。
- サイズ変更によるダイス交換の際、スライドピンの装着は確実におこなってください。装着が不十分ですと破損の原因となります。
- ダイスは消耗品であり、10,000回の作業回数を目安として設計してありますので定期的に変換してください。
- 工具の油圧作動油の流れを良くし作動を完全にするため、 -5°C 以下で保存した工具を使用するときは、 $10\sim 25^{\circ}\text{C}$ の室温で約60分放置後使用してください。
- 工具は、気温 $0^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲で使用してください。
- 本工具を使用される前に、必ず施工要領書をお読みいただき、十分理解したうえで正しい作業をおこなってください。
- 継手の圧縮完了時にダイス先端部がタッチせず、またゲージ確認においても接続不良が認められた場合直ちに作業を中止して、工具をお買い求めの販売店、または当社営業所へ修理にだしてください。
- 投げたり、落としたり、強い衝撃を加えないでください。工具が破損いたします。

バッテリーパックご使用上のご注意

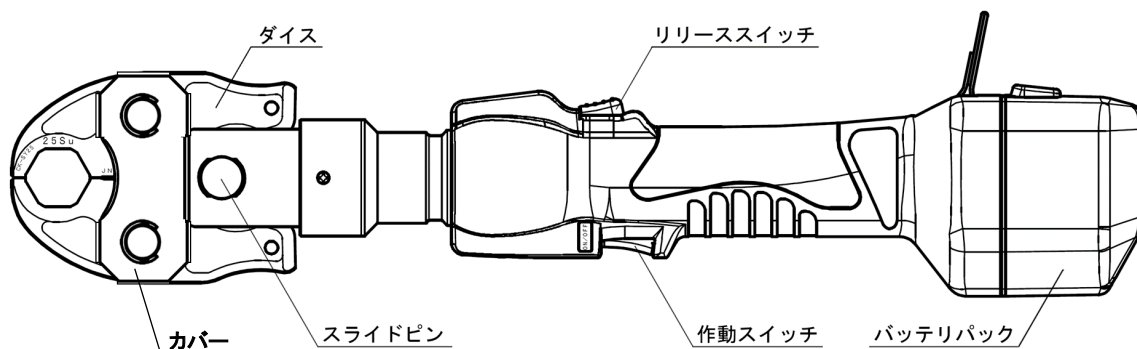
- 端子を絶対ショートさせないでください。
- 水や油、有機溶剤がかからないようにしてください。
- 分解、改造は絶対にしないでください。
- 廃棄する場合、火の中への投入や、一般ゴミとしての廃棄はしないでください。
- 投げたり、落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- 高温(50°C 以上)の所へ長時間(熱くなるまで)放置しないでください。
- バッテリーパックの早期寿命を防ぐため、追い充電(継ぎ足し充電)はしないでください。バッテリーパックは電池容量を使い切ってから充電するカリフレッシュ機能付の充電器を使用されている場合は、リフレッシュ充電をおこなってください。
- バッテリーパックの金属端子部にゴミやホコリが付着していると接触不良となり、故障の原因となります。また金属端子部は常にキレイな状態を保ち、腐食が現れた場合は、乾いた布や紙で磨いてください。

充電器ご使用上のご注意

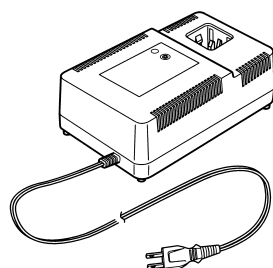
- 充電器はお知らせランプ(単灯多色LED)により、バッテリーパックの充電状態を表示します。
- 発電機での充電は故障の原因となりますのでおこなわないでください
- 雨中では使用しないでください。感電、発煙の恐れがあります。
- バッテリーパックが冷えているとき(5°C 以下)や長い間使用されなかったときは、バッテリー保護のために普通充電モード(約80分充電)となります。
- 充電器の電源を商用電源につないでもお知らせランプが赤で点滅しない場合は、修理が必要です。そのままの状態では充電されずと発煙、発火の恐れがあります。修理は、お買い求めの代理店または当社営業所にご依頼ください。
- 充電器の金属端子部にゴミやホコリが付着していると接触不良となり、故障の原因となります。また、金属端子部は常にキレイな状態を保ち、腐食が現れた場合は、使用しないでください。

各部の名称および標準付属品

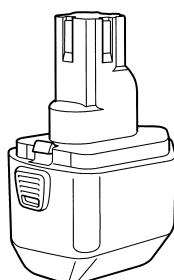
●プレス式継手用締付工具 CK-SY25



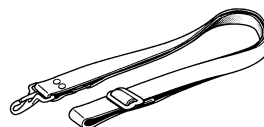
●充電器 CH-3MH



●バッテリーパックBP-70MH

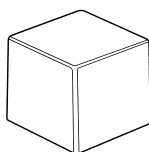


●肩かけベルト

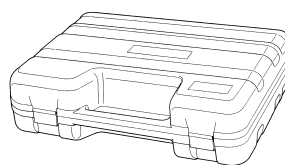


※バッテリーパックは消耗品であり、作業回数が初期の半分となった場合は、交換を推奨します。

●ターミナルカバー

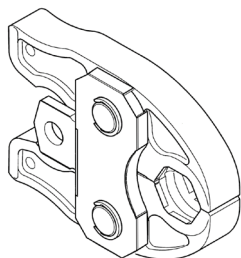


●キャリングケース



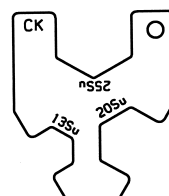
オプション品

●ダイス



・SUS プレス用: 13Su, 20Su, 25Su
 ・樹脂プレス用: 10J, 13J, 16J
 ※20Su と 16J は兼用

●六角ゲージ



・SUS プレス用
 ・樹脂プレス用

※ダイスは消耗品であり、破損による危険防止のため、定期的(2年間又は10,000回を目安)に交換してください。
 ※プレートのカバーが外れた場合は使用を止め、修理してください。

■仕 様

●プレス式継手用締付工具 CK-SY25

公 称 出 力	40kN
継手プレス範囲	SUSプレス 呼び13Su、20Su、25Su 樹脂プレス 呼び10J、13J、16J
電 動 機	14.4V DCモータ
外 形 寸 法	535mm(長さ)×98mm(高さ)×70mm(幅)
質 量	4.3kg(ダイス・バッテリーパック含む)

●バッテリーパック BP-70MH

電 池 名 称	円筒密閉型ニッケル・水素電池
公 称 電 圧	DC 14.4V
定 格 容 量	3.0Ah
充 電 時 間	約25分(CH-3MH)
質 量	0.85kg

●充 電 器 CH-3MH

入 力 電 圧	単相交流 100V
入 力 周 波 数	50/60Hz
入 力 容 量	380VA
充 電 時 間	25分(BP-70MH)
外 形 寸 法	195mm(長さ)×70mm(高さ)×118mm(幅)
質 量	1.04kg

●標準付属品

バッテリーパック	BP-70MH
充 電 器	CH-3MH
肩かけベルト	
キャリングケース	
ターミナルカバー	
取扱説明書	

●オプション品

ダ イ ス	【SUSプレス用13Su・20Su・25Su】【樹脂プレス用10J・13J・16J】 ※SUSプレス20Suと樹脂プレス16Jは兼用
六 角 ゲ ー ジ	【SUSプレス用】【樹脂プレス用】

※改良のため、本仕様は予告なく変更することがあります。

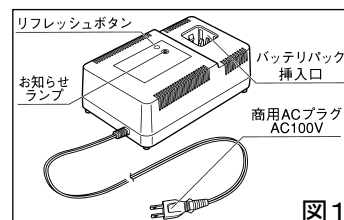
■使用方法

充電方法

1. リフレ機能

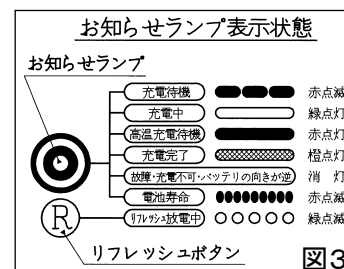
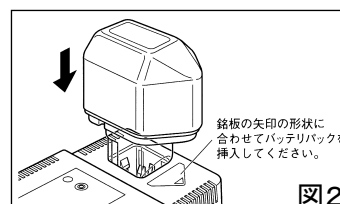
リフレ機能充電器CH-3MHの差込プラグを商用電源AC100Vへ差し込みます。お知らせランプが赤で長点減します。→ 充電待機 (図1)

注意: 定格充電電圧は100Vですので、110V以上の電圧で充電されますと故障の原因となります。



2. バッテリーパックを充電器のバッテリー挿入口へしっかり差し込んでください。充電を開始し、お知らせランプが緑で点灯します。→ 充電中 (図2)

注意: ●バッテリーパック挿入口にゴミや異物を絶対に入れないでください。故障の原因になります。
●バッテリーパックは充電器挿入口に示す形状に合わせて挿入してください。別方向で挿入しても充電はおこなわれません。
●本充電器(CH-3MH)は、泉精器製12Vおよび14.4Vのバッテリーパックに使用できます。
●6VバッテリーパックBP-6VR、BP-6VIは故障の原因になりますので、充電器に挿入しないでください。



3. 充電が完了すると、お知らせランプが橙(オレンジ)で点灯します。→ 充電完了 (図3)

注意: ●バッテリーパックの温度が高いときお知らせランプが赤の点灯→ 高温充電待機のままがあります。このような場合はバッテリーパックを一旦充電器から抜き、冷ましてから充電をおこなってください。

4. リフレッシュ充電

リフレッシュ機能とは、不活性状態のバッテリーパックをリフレッシュ放電後、充電をおこなうことで、最適な使用状態とするための機能のことです。

リフレッシュ充電は、お買い求めになられたときや長時間使用されなかった場合などにおこなってください。

1) バッテリーパックを挿入口に差し込み、ⓐボタンを押すと、リフレッシュ放電を開始します。→ リフレッシュ放電中

注意: ●リフレッシュ放電時間は、満充電のバッテリーパックを放電した場合6~12時間かかります。

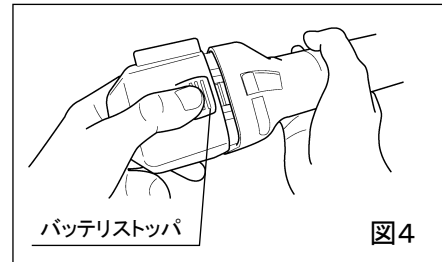
2) リフレッシュ放電終了後、自動的に充電が始まり、充電完了しましたらリフレッシュ充電完了です。→ 充電完了

バッテリーパックの着脱方法

1. バッテリストッパを押しながら抜き取ってください。

(図4)

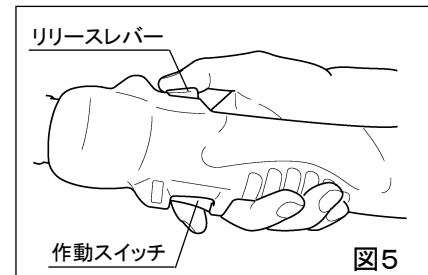
2. 装着後は、バッテリストッパを押さえないで引っ張り、バッテリーパックが抜けないことを確認してください。



スイッチ操作方法

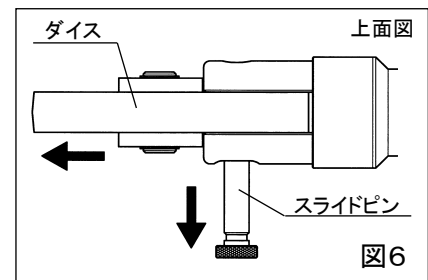
1. 作動スイッチを押し続けると工具が作動し、ピストンが上昇しダイスを加圧します。作業が終了したら作動スイッチから指を離して、リリーススイッチを押し続けてください。ピストンが下降します。

(図5)



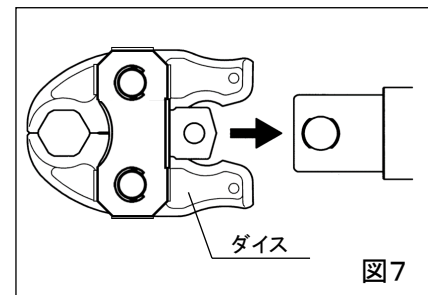
ダイス交換方法

1. リリーススイッチを押しピストンが下死点まで下がっていることを確認したら、スライドピンをストップがかかる位置まで引き抜き、ダイスを外します。(図6)



2. 接合する継手により適合するダイスを選定し、ダイスを工具へ取り付けます。スライドピンはしっかり差し込んでください。

(図7)



スライドピン差し込みの注意事項

継手をプレスする前にスライドピンが完全に差し込まれていることを確認してください。

●注意事項

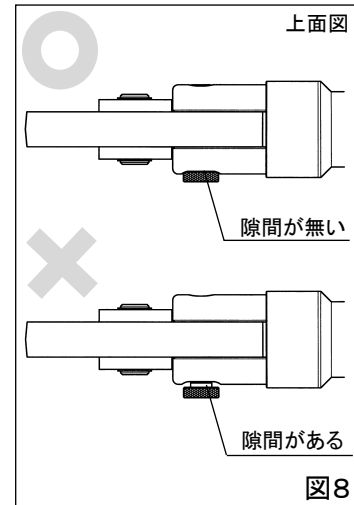
本体使用前には、必ずスライドピンが隙間なく差し込まれているか確認してください。差し込みが不十分の場合、スライドピンの破損・ヘッドの変形などの恐れがあります。

●使用方法

1. スライドピンを差し込む際は、カチッと音が鳴るまで差し込んでから、プレス作業をおこなってください。

(図8)

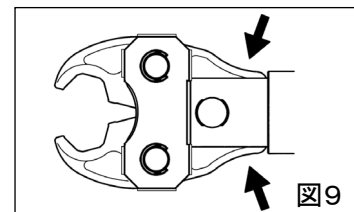
2. 作業中、スライドピンを手で押さえたり、障害物などに当てないように注意してください。



継手プレス作業

1. ダイスの背面を押さえダイスを開きます。

(図9)



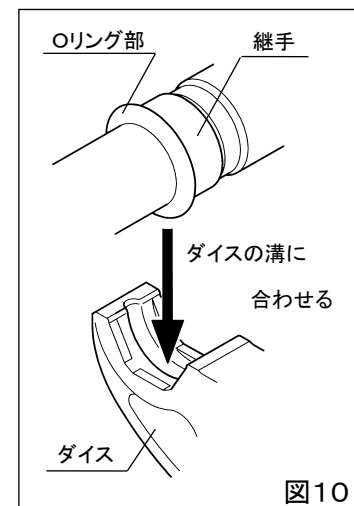
2. ダイス中央部の溝を継手のリング部に合わせた後、ダイスを閉じて継手の仮把持をおこないます。

(図10)

注意: 継手の接合手順は「継手の施工要領書」に従いおこなってください。

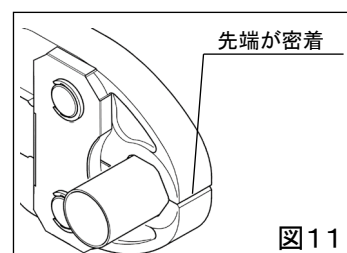
3. 作動スイッチを操作してください。ピストンが上昇しダイスが加圧されると、「カッカカッ」という音を発します。そして、ダイス先端が密着すると「カッカカッ」という音が消え、圧力規制装置が作動しますとプレス完了です。

(図11)



4. リリーススイッチを押すとピストンが下降し、ダイスがフリーとなります。

5. ダイスを開き、継手を取り外してください。



プレス接合部の確認

1. 継手をプレス接合する際、付属のゲージを使って、プレスの良否を確認してください。
継手のサイズと合うゲージを、プレス接合した継手の六角部に当てはめ、完全にはまり込めば良好です。
2. 接合部が不良であった場合、その箇所の継手は水漏れの恐れがありますので、新しい継手で正常に作動する工具でやり直してください。

その他

1. 接合部に不良が発生した場合の工具に対する対策・処置を次の通りにおこなってください。
 - 1) ダイス・継手の取り付けは正常か確認してください。
 - 2) ダイスに異物がかみ込んでいないか、また正常な位置でプレスがおこなわれているか確認してください。
 - 3) 工具故障の場合は使用を止め、お買い求めの代理店または当社営業所へご相談ください。
2. バッテリーパックの1充電におけるプレス作業回数は、充電条件、バッテリー性能の経時変化により変化します。通常の使用状態で作業回数が初期の半分となった場合は、電池の経済寿命ですから新しいバッテリーパックをご用意ください。
3. バッテリーパックの充放電回数は、使用条件、充電時の状況により異なりますが約500回程度です。
4. 標準プレス可能回数(1回の充電で可能なプレス回数の目安)

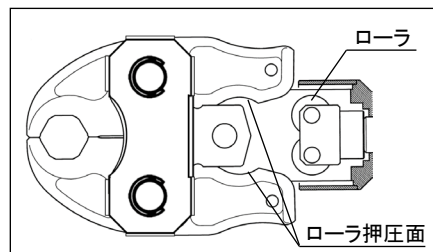
継手種類	継手サイズ	標準プレス回数
SUSプレス	13Su	290
	20Su	230
	25Su	215
樹脂プレス	10J	220
	13J	250
	16J	220

注)上記プレス回数は、作業条件、使用条件等により異なりますので、あくまで目安としてください。

■ 保守・点検

1. 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障原因になりますので注意してください。

2. 工具の円滑な作動および錆の発生を防ぐため、できるだけ湿気をさけて保管し、摺動する部分には時々機械油を注油してください。特にローラ、ダイスのローラ押圧面には高負荷が加わりますので、ゴミ等が付着した場合きれいに取り除き、グリースを再塗布してください。



3. エアの混入はほとんどありませんが、万一混入した場合は(ピストンが上下運動して圧力が不安定な状態になります。)修理に出してください。

4. 工具の性能を十分発揮させるため、メンテナンスは24ヶ月ごとに実施してください。また、ダイスは消耗品であり、破損による危険防止のため、定期交換を推奨します。

5. 樹脂部分が汚れた場合には、せっけん水をやわらかい布につけ拭きとってください。

6. ニッケル水素電池を長くお使いいただくためには、充電してから保管することをおすすめします。

7. バッテリーパックを単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のターミナルカバーをつけてください。

8. 日常の保守・点検が十分であれば、故障の生じることはありませんが、万一生じた場合はお買い求めの代理店または当社営業所へお問い合わせください。

■こんな時には

不具合	原因	お客様	メーカー
工具が作動しない	①バッテリーパックが完全に装着されていない	確認	
	②バッテリーパックが放電状態	バッテリーパック充電	
	③その他		修理
ピストンが上昇しない	①作動油の不足		修理
	②エアの混入		修理
	③油圧回路異常		修理
昇圧しない (圧力規制が作動しない)	①作動油の不足		修理
	②バッテリーパックの残容量不足	バッテリーパック充電	
	③油圧回路異常		修理
ピストンが戻らない	①油圧回路異常		修理
モータは回転するが ダイスが密着しない (ゲージが通らない)	①油圧回路異常(出力低下)		修理
	②ダイスと継手の組合せ違い	確認	
	③異物の噛み込み	確認	
工具からの油漏れ 異常音発生			修理
充電ランプが点灯しない	①バッテリーパック挿入方向間違い	確認	
	②バッテリーパックと充電器の接点にゴミが付着している	確認	
	③バッテリーパックが熱い	バッテリーパック冷却	
	④その他		修理
その他		問い合わせ	確認 修理

■保証書について

保証書は販売店でお渡しいたしますから、必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間はご購入の日より1年間です。

保守・点検履歴表

年月日	本体	バッテリー	ダイス				
			25Su	20Su・16J	13Su	13J	10J
使用開始 年月日	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /	20 / /
(例)2026/4/1	更新・修理 (モーター交換)	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理
20 / /	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理	更新・修理

CKシーケー金属株式会社

ホームページ <https://www.ckmetals.co.jp>

- 本社・工場 〒933-0983 富山県高岡市守護町2-12-1
TEL (0766)21-1448(代) FAX (0766)22-5830
- 東京支店 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-8 プライム岩本町二丁目ビル4F
TEL (03)3861-8036(代) FAX (03)3866-8467
- 大阪支店 〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビルディング8F
TEL (06)6531-6776(代) FAX (06)6531-6724
- 名古屋支店 〒460-0011 名古屋市中区大須4-1-18 セイジョウビル9F
TEL (052)251-1761(代) FAX (052)251-1762
- 北海道営業所 〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条3-2-83
TEL (011)780-8808 FAX (011)780-8809
- 仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東5-3-32
TEL (022)287-0090 FAX (022)287-0095
- 広島営業所 〒731-0135 広島市安佐南区長束3-47-10
TEL (082)509-0460 FAX (082)509-0461
- 福岡営業所 〒812-0893 福岡市博多区東光寺町1-11-28
TEL (092)433-3057 FAX (092)433-3058
- 北陸営業所 〒933-0983 富山県高岡市守護町2-12-1
TEL (0766)26-0722 FAX (0766)26-0833

製造元: **マクセルイズミ株式会社**

119716270-08
2024年4月版